

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 リールスメディカル足立花畑

公表日 : 2025年 3月 15日

利用児童数 : 22名

回収数 : 13名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3	0	0	車椅子等を置いてしまうと、十分に確保とは 言えないと思う	置き場等を工夫し、安全で快適な支援環境 確保に努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	0	0	お預かりの人数と医ケアがある子が多い日 は、職員配置数は少ないと思う。	日々の支援やモニタリングの機会等を活用 し、お子様の個性やニーズの相互共有により 安全な支援体制確保に努めていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	10	2	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	11	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	12	1	0	0	対面でしっかり話を聞いて計画を立てて下さ います。	日々の支援やモニタリングの機会等を活用 し、お子様の個性やニーズの相互共有により 安全な支援体制確保に努めていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	11	2	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	12	1	0	0	毎月プログラムの内容を書面で渡して下さい ます。	引き続き、迅速かつ丁寧な連絡・報告に努 め、安心してご利用頂ける支援体制を確保し ていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	3	2	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	13	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	8	1	2	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	12	1	0	0	ファイルにも細かく活動の内容を記入して くださいます。	引き続き、迅速かつ丁寧な連絡・報告に努 め、安心してご利用頂ける支援体制を確保し ていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	4	2	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	1	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	3	6			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	2	0	事務的な連絡が、スタッフ間で行き違いになったり、書類上の表記のミスがやや目立つ。	迅速かつ丁寧な連絡・報告に努め、安心してご利用頂ける支援体制を確保していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	3	0	2	ホームページに入れてないので分かりません。	家族用ページの入り方について丁寧にお伝えしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	1	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	1	2	速やかな連絡ではないと思います。	迅速な連絡・報告に努め、安心してご利用頂ける支援体制を確保していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	0	まだ安心感を持ってないと思う。	安心して通所を楽しみに行ける支援の充実に努める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0	今の所、家で過ごしているのと同じで、デイでもTV見ることが多く他に遊んでいる様子はないので、楽しみは無いのではと思います。	引き続き、通所を楽しみに行ける支援の充実に努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2	0	0	9月開所のため、まだまだ落ち着かない様子ですが、子どもは楽しんでいるようです。今後に期待しています。	引き続き、通所を楽しみに行ける支援の充実に努める。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		リールスメディカル足立花畑				公表日	2025年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	車椅子をフロアから出している	車椅子を置くスペースがない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	法的基準は守っている	医療ケア度や送迎の安全の確保が困難 療育を行うスタッフも不足し 活動に支障が出ている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	おもちゃの写真を貼ったボックスに収納したり 予定の可視化してる	安全面の配慮が不十分 棚に扉がなく 物が落ちやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	毎日掃除 消毒している	床の保清が不十分	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	今は児発のお部屋にて行っている	2店舗オープンになったらスペースがない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	毎日掃除 消毒している	目標設定が明確になっていない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者からの評価、意見はマネージャーより報告されている	保護者の評価を共有していない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	ミーティングや 意見交換の場を設けている	ミーティングを行うも 内容が明確に提示されない為 業務改善につながるとはいいがたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者による評価の結果がきていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		CTトレーニングを行っている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		共有する場を設けている	共有方法の検討要する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		共有する場を設けている	共有方法の検討要する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		共有する場を設けている	共有方法の検討要する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	共有する場を設けている	計画内容の共有がしっかりされていない 共有方法の検討要する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	共有する場を設けている	共有方法の検討要する	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	開設から多くのご利用を頂きその日の支援に集中する段階だったが 情報共有の場を増やし 個々の支援について 深めることが出来ている	個々の支援を深め、スタッフ間で共有しながら支援を充実させていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校からの連絡がなく 保護者に行事予定を教えてもらっていた	学校からの連絡が不十分だったが アプリにて事業所にも通知するシステムが整った
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保護者経由または送迎時に先生に聞くことでしか共有できていない	今後必要な時があるため 情報共有のためにコンタクトをとる
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	対象者がいない	今後対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	相談支援員さんとは連携がとれてきている	今後そのような機会があれば積極的に参加したい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	相談支援員さんとは連携がとれてきている	今後そのような機会があれば積極的に参加したい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	相談支援員さんとは連携がとれてきている	今後そのような機会があれば積極的に参加したい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	研修の機会が必要	今後情報を習得した際にはお伝えする	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	オープンして日が浅く 機会を設けることができていない	拡大オープン後 保護者スペースができてから開催したい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	積極的に関わっていない 迅速さに欠ける部分がある	今後積極的な関わりをもち 対応できる体制を整える
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2	終業時個人情報となるものが施錠できるところに保管されていない 一部スタッフが何気なく個人情報話を話している	物品の保管場所の改善 職員の教育が必要
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	行事等行っていない	余裕ができてから 行事を行いたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4	マニュアル不十分 施不十分	訓練実 今後マニュアルを整備し 訓練も行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3	訓練は行っている	不足分を見直し 改善する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	情報を事前に収集している	非常時としては不十分
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	情報を事前に収集している	対応としては不十分なところがある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画策定済み。	存在と内容を共有していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	家族面談時 安全確保の確認を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的に社内研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	1	契約時説明を行い 重要事項説明書に記載している		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメディカル足立花畑		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が過ごす場所・使用する場所は清潔であり、心地良く過ごせる環境になっている。	毎日の掃除・消毒に加え スチームクリーナーにて除菌消毒を行い 清潔を保つよう努めている。	スタッフだけでなく 管理者やマネージャーにも点検、助言をもらい 常に清潔を保つ
2	日頃から児童の様子や状況を保護者と情報共有し 発達の状況や関わるうえでの課題について共通理解を持てるよう努めている。	送迎時や連絡帳、電話等でやりとりし、多忙な保護者とも 丁寧な連絡が取れている。	モニタリングや経過アセスメント面談の際に、日頃からのコミュニケーションの積み上げを活用できるように、経過表を活用する。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫することができています。	滞在時間やできることが限られた児童もいるなかで その日來所される児童さんに適した内容の活動内容や所要時間の設定ができています	社内の他の事業所がしている内容等も参考にレポトリーを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童が過ごす場所・使用する場所は児童にとって わかりやすく構造化された環境である。	おもちゃや物品の収納場所・収納方法・可視化が足りない。	不要な物は処分し、児童にとっても職員にとってもわかりやすく配置・収納する。
2	日々の支援に対し記録を丁寧に作成し、支援の検証・改善に努める	日々の記録をリーダー・管理者・児発管が確認することで 記録の抜けや間違い、質の改善につながる。	半年に1回の個別支援会議の際などに、記録を提示・活用することで 日々の記録から個別支援改革に活用する意味や意識を全体に広げる
3	職員の意見等を把握する機会を設け、内容を業務改善につなげる	ミーティングや面談の機会が少なく、意見の集約や反映・業務改善にまだ至っていない。	全体会議や日々のミーティングだけでなく 1on1等で職員の意見や思いを聞き 状況把握し風通しを良くし、業務改善に努める

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 リールスメディカル足立花畑

公表日 : 2025年 3月 10日

利用児童数 : 11名

回収数 : 5名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1	0	0	安全、安心して活動ができる場所があり導線も考えられている	—
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	1	本人に目が向いていて、状態などをよく確認し対応して下さっていると思う	日頃の様子を保護者専用ブログを活用して積極的にお伝えしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	1	車椅子仕様のバギーでも安心して通所でできています	—
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	1	0	アルコール消毒や清掃なども細められている壁面などのイラストも目をひいてよいです	—
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	1	長所や短所などを見つけて下さり、それに適したリハビリなどを行ってくださっていると思います。	—
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	1	0	0	適切でわかりやすく、子の成長に合わせてもらっていると思います	—
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0	こどもの状況や保護者が望んでいることをくみ取り作成されている	—
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1	0	1	本人の状況に適しており、内容も具体的にわかりやすく支援体制も整っている	—
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1	0	0	本人によく声掛けや手遊びなどの遊びをして下さい本人にとって良い刺激になっていると思います。発達につながっていると思う	—
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1	0	3	月単位でプログラムがわかりやすく工夫されていると思います	—
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	1	3	系列の施設のお子さんとコミュニケーションがとれていると思います	—
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0	丁寧に説明して下さい、疑問に思う対応はなくわかりやすいです	—
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	1	内容に対してわかりやすく説明してくださいました	—
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	0	4	具体的なイベント等は参加していないが見学等にいった際に個々に情報提供はされている	—
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1	0	0	送迎時や連絡帳などを通じて、状況や状態がわかりやすく共有できている	日頃の様子を保護者専用ブログを活用して積極的にお伝えしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	1	1	適宜、状況に合った支援や対応をして下さっている	—
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	1	こどもの状況をよく理解し、必要に合わせて適切な対応をして下さっています	—
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	3	姉弟児がない為何とも(わからない) 言えない	事業所の取り組みを保護者専用ブログを活用して積極的にお伝えしていく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	3	電話等でスムーズに対応して下さり不安を感じることはありません。説明わかりやすく安心できました。	—
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	1	0	個別にマニュアルも作って下さり情報伝達はスムーズに行われていると思います	—
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	1	2	家族専用ページがあり、活動の内容を確認できています。発信を楽しみにしています	日頃の様子を保護者専用ブログを活用してお伝えしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	1	きちんと取り扱われていると思います	—
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	4	マニュアルがきちんと配布されており、内容や対応方法もわかりやすいと思う	—
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	4	きちんと対応して下さっていると思う	—
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	3	安全意識がしっかりしており周知徹底はされていると思う	—
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	2	問い合わせに対して速やかに改善策を提示して下さい、危機管理は徹底していると思います	—
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0	好きなスタッフがいるようで目えきっている様子から“リールズ”が安心できる場所だと感じているようです。表情によく出ていると思	—
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	送迎に来て下さるスタッフを認識するとニコニコで楽しい気持ちが伝わってきます	—
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	2	0	0	活動や個人ケアなど、細やかに対応して下さい感謝しています。可能な限り通所させたいと考えています。ありがとうございます！	安心してご利用継続して頂けるよう、今後も丁寧な支援に努めていく。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 リールズメディカル足立花畑

公表日 2025年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	車椅子をフロアから出している	車椅子を置くスペースがない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	法的基準は守っている	医療ケア度や送迎の安全の確保が困難 療育を行うスタッフも不足し 活動に支障が出ている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	おもちゃの写真を貼ったボックスに収納したり 予定の可視化してる	安全面の配慮が不十分 棚に扉がなく 物が落ちやすい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	毎日掃除 消毒している	床の保清が不十分
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	今は児発のお部屋にて行っている	2店舗オープンになったらスペースがない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	毎日掃除 消毒している	目標設定が明確になっていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者からの評価、意見はマネージャーより報告されている	保護者の評価を共有していない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	ミーティングや 意見交換の場を設けている	ミーティングを行うも 内容が明確に提示されない為 業務改善につながるとはいいがたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者による評価の結果がきていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		CTレーニングを行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		共有する場を設けている	共有方法の検討要する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		共有する場を設けている	共有方法の検討要する
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		共有する場を設けている	共有方法の検討要する
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	共有する場を設けている	計画内容の共有がしっかりされていない 共有方法の検討要する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	共有する場を設けている	共有方法の検討要する
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	情報共有の場を確保。個々の支援について 深められるように努めている。	個々の支援について 深める情報共有の場を増やしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	情報共有の場を増やし 個々の支援について 深められるように努めている。	個々の支援について 深める情報共有の場を増やしていく。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	情報共有の場を増やし、個々の支援について深められるように努めている。	個々の支援について、深める情報共有の場を増やしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	情報共有の場を増やし、個々の支援について深められるように努めている。	個々の支援について、深める情報共有の場を増やしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	情報共有の場を増やし、個々の支援について深められるように努めている。	個々の支援について、深める情報共有の場を増やしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	情報共有の場を増やし、個々の支援について深められるように努めている。	個々の支援について、深める情報共有の場を増やしていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育園の先生からご様子等は聞けるが、保護者抜きでは細かい内容の共有に課題がある。	2024年9月オープンでこれから取り組んでいく。今後支援内容等の情報共有や相互理解ができるようにはたらきかける。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	共有する場が不十分。	2024年9月オープンでこれから取り組んでいく。今後支援内容等の情報共有や相互理解ができるようにはたらきかける。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、相談支援員さんと定期的に連絡を取り合っている。	スーパーバイズや助言等を受ける機会が乏しい。継続した連携と、信頼関係を構築する。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	活動の中で、姉妹店の児童との交流会を行っている。	地域のイベントがあれば積極的に参加する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	家族の対応力について、相談があった時は職員にて回答している。	家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会がない。研修の機会や情報が入れば適宜提供する。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時説明している。質問があれば、都度返答している。	引き続き契約時説明している。質問があれば、ご理解いただけるまで都度返答する。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	定期的な面談・アセスメントを行っている。相談があった時はスタッフで話し合い、返答し支援している。	継続して定期的に面談・アセスメントを行い、談があった時はスタッフで話し合い、返答する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	保護者会等を開催していない。	今後必要であれば開催する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	こどもや保護者からの相談や申入れについて、できる範囲で迅速に対応を行っている。	こどもや保護者に周知が必要な内容であれば手紙や電話、メールなどで告知する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	社報やブログで活動内容を伝えている。連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信できていない。	連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	同意のもとで写真を撮っているか確認が必要。	契約時説明し同意書を交わし同意のもと写真撮影、掲載しているので継続する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	地域の事業所などと管理者同士交流している。	地域のイベントがあれば近隣住民を招待する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等会社のものはある。	事業所に合わせたマニュアル作成中。訓練も適宜実施する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	3	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、必要な訓練を行っている。	事業所に合わせたBCP作成中。訓練も適宜実施する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	契約時に、服薬、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	予防接種について未確認。調査票追加分作成中。今後契約前に確認する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	契約時、保護者から聴取している。	医師の指示書変更中。今後契約前に確認する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4	安全管理に必要な物品を皆で話し合い購入や対応をしている。	今後安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	安全に対する取組内容について、家族等へ送迎時や面談時等説明している。	安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事故検討委員会にて再発防止策を皆で話し合ってから入力している。	引き続き継続する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2	契約時説明を行っている。	対象児童がまだ利用したことがないが、ご利用がある場合、契約前からスタッフにも対応方法等周知、検討し、児童や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載してから緊急時のみ実施する。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメディカル足立花畑		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児や保護者にニーズに合わせた適切な支援を行うことができる。	未就学児の発達段階や心身の発達度、その時に必要なニーズに合わせた支援を行っている。保護者や園と支援内容をなるべく合わせて実施している。	未就学児の発達段階や心身の発達度、その時に合わせた支援内容の定期的な振り返りを毎日だけでなく一定間隔で行う。保護者や園と情報共有し支援内容を合わせて実施する。
2	未就学児のできることや楽しいを増やす。	日々の関わりの中で 未就学児が興味をもつものや事柄、快の感情を感じる支援を見つけ行い、保護者に報告することで 新たな発見ができています。	引き続き様々な支援を行い、新たな楽しみや、五感刺激による効果等、スタッフ、保護者と共有し、未就学児の新たな世界を広げる。
3	安全を保つ。	未就学児の目線から見える安全対策を工夫し、相談・共有・実施してくれている。	安全計画を作成し、事業所に合った安全対策を更に行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他所とも連携し、未就学児に必要なニーズに合わせた支援を行う。	契約時に保護者や相談支援員に話を聞いてニーズに合わせた支援を行っているが、就学に向けての移行支援や共有が不足している。	保護者や相談支援員だけでなく、他所や学校とも密に連絡を取り合い、保護者の同意のもと、同じ方向性の支援計画を立てて実施する。
2	療育について レポートリーや内容を考える。	療育についてチューターがいない状態での立ち上げ 運営している。既存スタッフもよく考え日々活動しているが、重心ならでの活動や療育をおこなえるのではと考える。	月間活動のアイデアを職種関係なく皆で考え、経験のあるスタッフの異動または経験者の応募があれば早期採用し、更なるアイデア、手法を取り入れる。
3	安全を保つ。未就学児だけでなく、大人目線、安全計画に沿って考える必要がある。	未就学児の目線から見える安全対策を工夫し、相談・共有・実施してくれているが安全計画に沿っておらず未完成。	安全計画を作成し、事業所に合った安全対策を更に行う。

事業所名

リールスメディカル足立花畑

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。											
支援方針		多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が自分らしく生き抜く力を育み支える。											
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	11 (10)	時	30	分から	17 (16)	時	30	分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	看護職員等により来所時の健康チェック、ご利用児童ひとりひとりの医療濃度に応じ看護職員による医療的ケアを実施し、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。個々の心身の状態に合わせ機能訓練担当職員によるリハビリテーションを実施することで、各自が保有する機能の維持・改善と健全な心身の発達を支援。保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、児童本人の生活リズムの形成・安定を図る。											
	運動・感覚	機能訓練担当職員によるリハビリテーションにより、個々の心身の状態に合わせて姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、関節の拘縮、変形の予防、筋力の維持・強化を図る。児童ひとりひとりの身体の状態に合わせ、活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いす等様々な補助的手段を活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、児童が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。											
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。シール貼りなどの創作活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。外出（散歩）活動の提供により、児童が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、過去の情報と照合しつつ環境の状況や変化を把握・理解できるよう支援。											
	言語 コミュニケーション	集団活動等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援。活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。散歩活動中等の声掛けや、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。											
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：風船バレー等）の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。											
家族支援		ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。						移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施。			
地域支援・地域連携		ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。						職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		外出活動（3～5月、10～11月）、夏祭り（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会（3月）、お誕生日会（毎月）											

事業所名

リールスメディカル足立花畑

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念	子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。		
支援方針	成長著しい乳幼児期のお子様ひとりひとりの発達の充実が図られるよう、保護者や地域の支援機関との連携を重視しながら、個々のニーズに合わせ工夫を凝らした多様な活動・体験機会を提供することを通じ、就学に備えられるよう支援する。		
営業時間	平日 土・祝・長期休暇	11 (10) 時 30 分から 17 (16) 時 30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	看護職員等により来所時の健康チェック、お子様ひとりひとりの医療濃度に応じ看護職員による医療的ケアを実施し、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 個々の心身の状態に合わせ機能訓練担当職員によるリハビリテーションを実施することで、各自が保有する機能の維持・改善と健全な心身の発達を支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、お子様ひとりひとりの生活リズムの形成・安定を図る。	
	運動・感覚	機能訓練担当職員によるリハビリテーションにより、個々の心身の状態に合わせて姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 お子様ひとりひとりの身体の状態に合わせ、活動時間中に適切な姿勢保持装置や車いす等様々な補助的手段を活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、お子様が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。	
	認知・行動	支援スタッフがお子様ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえてお子様が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 シール貼りなどの創作活動の提供により、お子様が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、お子様が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、環境の状況や変化を徐々に把握・理解できるよう支援。	
	言語 コミュニケーション	集団活動等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを徐々に伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、お子様ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けや、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。	
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：風船バレー等）の提供により、他のお子様と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 お子様ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。	
家族支援	お子様の発達状況を相互に理解し合えるよう、こまめな気づきの共有と情報交換を実施。お子様を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。	移行支援	保育所等併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路(就学)先を見据えた保護者等との相談援助を実施。
地域支援・地域連携	お子様がスムーズな生活を送れるよう、保育所・幼稚園等の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。	職員の質の向上	年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。
主な行事等	外出活動（3～5月、10～11月）、夏祭り（8月）、クリスマス会（12月）、お別れ会（3月）、お誕生日会（毎月）		